

## 2 指導の重点

## (1) 各教科等

## ア 各教科

- ① 生徒一人ひとりの障害の特性を考慮し、国語科と数学科は小グループに分かれて系統的体験的な分かりやすい授業を行い、学習内容の定着をめざす。
- ② 「具体物を提示してひきつける」ことや「既習事項の振り返り」等を通じて、生徒が「学ぶことに興味や関心をもつ」導入の工夫を行うとともに、単元や題材など内容のまとまりの中で主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ③ 保健体育科において、陸上競技のリレーのバトンパスの技術を動画に撮り、確認し、改善方法を考えさせ、通常の学級と交流しながら共に行う体育大会に活かす。
- ④ 読書活動を通じて豊かな心情を育てるとともに、読解力の向上をめざし、図書室にて司書によるブックトーク、社会科や総合的な学習の時間等に本や1人1台の学習用端末を用いて調べ学習を行う。
- ⑤ 日本の伝統文化を大切にし、百人一首や書写、書き初めに取り組む。
- ⑥ 資料提示や生徒の発表の際にICT機器を積極的に活用し、視覚的に理解が深まるように助言する。また、1人1台の学習用端末などを用いることで、自分の思いや考えを表現する意欲を高める。

## イ 総合的な学習の時間

- ① 八王子の郷土学習として「八王子調べ」に取り組み、ICT機器を活用した調べ学習やスライド発表を行い、地域への愛着と市民としての自覚を高める。
- ② 地域の交流や探究的な活動を通して、「生きる力」を育む指導の充実を図り、生徒の主体的に学習する態度や思考力、判断力、表現力等を育てる。
- ③ 外部講師として、第2学年には助産師及び妊婦や乳幼児を招き、第3学年には産婦人科医を招き、通常の学級と合同で命の学習を行う。

## ウ 特別活動

- ① 地域と連携したボランティア活動や防災教育を通して社会貢献、SDGsの意識を育成する。
- ② 係活動や委員会を通して、生徒が自らの役割を自覚して積極的に責任を果たす力を身に付ける。
- ③ 学級活動を基盤として、学校行事、学年行事など、生徒一人ひとりの能力や個性を發揮できる場を設定し、いきいきと活動ができる内容の充実を図る。
- ④ 集団宿泊的行事において、班活動をより多く取り入れ、班長を中心とした生徒主体での行事運営を図る。

## エ 自立活動

- ① 個々の生徒が自立をめざし、障害に基づく課題や困難を主体的に改善・克服できるように、家庭と連携を取りながら、生徒一人ひとりの発達段階や障害の状況に合わせた学校生活支援シート・個別指導計画を活用し、指導を行う。
- ② 日常生活の場面を学習の中に設定し、言葉によるコミュニケーションの基礎的・基本的な能力を育て、発表の力を育てる。
- ③ 発表をよく聞き、必要な事柄をメモに取り、適切な質問事項を考え、活動を通して話し手にたずねるようにする。
- ④ 他者との関わりに関する学習を通じ、生徒の心理的な安定を図る。自立に向けて、基本的生活習慣の確立を図り、あいさつや礼儀を重んじる生徒の育成を図る。

## (2) 「特別の教科 道徳」を要とする道徳教育

- ア 全教育活動を通して道徳教育の全体計画および別業を基に計画的に道徳教育を行う。また、人権尊重の精神を基調とし、特に生命を尊重し他者の痛みが分かる心を育て、豊かな情操を育成する。
- イ 道徳授業地区公開講座において、地域・保護者向けに行う模擬授業等、意見交流を活発にする工夫を行う。また、生徒のよさや課題等を共有し、連携した道徳教育を推進する。
- ウ 特別の教科 道徳では「思いやり、感謝」「生命の尊さ」と「遵法精神、公德心」を重点項目とし「考え、議論する道徳」を展開しながら「問題解決的な学習」を取り入れる。
- エ 各教科等の命に関連する授業では、命を大切にする態度を育む。

## (3) キャリア教育

- ア ライフスキルやソーシャルスキルの習得を図り、生活力や自立に向けた力を育成する。
- イ 「働くこと」への興味・関心を育み、就労や社会生活等、自分の将来についての意欲を向上させ、コミュニケーション能力を高めようとする態度を養う。
- ウ 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、将来に向けての意識を育み、生徒が自己理解を深め、将来を見通した主体的な進路選択ができるよう支援する。
- エ 上級学校の見学等を通じ、自らの進路選択に対する意識を高める。
- オ 「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を継続的に活用し、生徒が自己理解を深めさせる手だてとし、保護者と情報を共有し、卒業後の上級学校との引継ぎにも活かす、生徒の将来の自立に役立つようにする。
- カ 学習と生活とのつながりを意識して、自身の社会的、職業的自立に向けて取り組めるよう、各教科等で連携を図りながら、全教育活動を通して必要な能力や態度を育てる。